

平成 29 年度 動物愛護相談センター動物由来感染症調査結果

(平成 30 年 1 月 31 日現在)

1 犬と猫の寄生虫調査

- (1) 検体採取期間 平成 29 年 4 月から平成 30 年 1 月まで
- (2) 対象及び規模 犬 10 頭(延べ検体数 11)、猫 62 匹(延べ検体数 82)の糞便
犬 3 頭、猫 40 匹の虫体
- (3) 方法 直接塗沫法及び飽和食塩水浮遊法による糞便中の虫卵の同定
解剖検査による心臓内及び消化管内における虫体確認と同定
- (4) 結果 糞便検査

検体	検体数	陽性数	%	寄生虫
犬糞便	11	0	0.0	
猫糞便	82	16	19.5	瓜実条虫、猫回虫、イソス [®] ラ属
虫体の確認				
検体	検体数	陽性数	%	寄生虫
犬	3	0	0.0	
猫	40	5	12.5	瓜実条虫、猫回虫

【参考】猫を用いた新たな脳摘法の検討

狂犬病臨床研究会および国立感染症研究所獣医科学部の助言・指導の下、開始した。

- (1) 検体採取期間 平成 29 年 11 月から平成 30 年 1 月まで
- (2) 対象 猫 14 匹
- (3) 方法 剖検による脳の摘出
- (4) 結果 「頭頂部矢状開頭法」の開発、「頭部横断法」の検証等